

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

福井県 五福川公共下水道事務組合

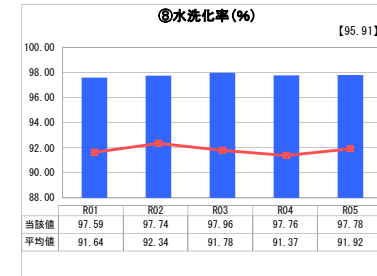
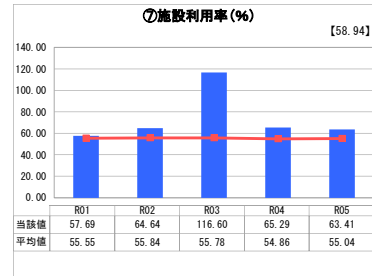
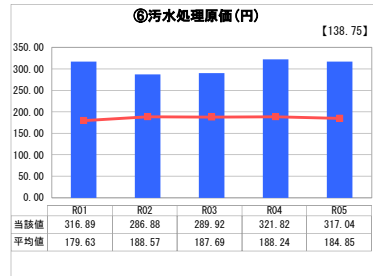
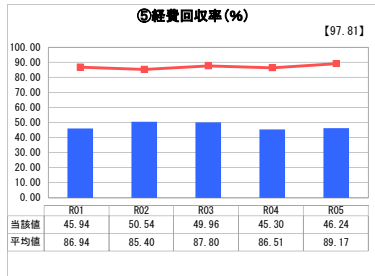
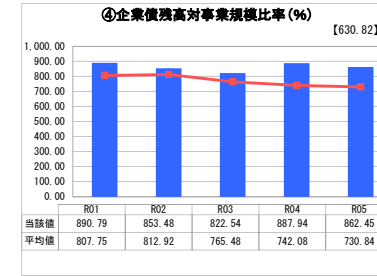
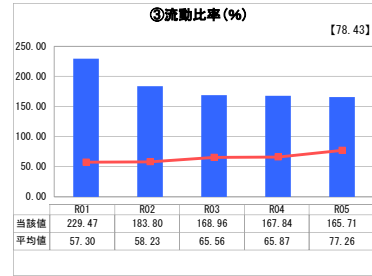
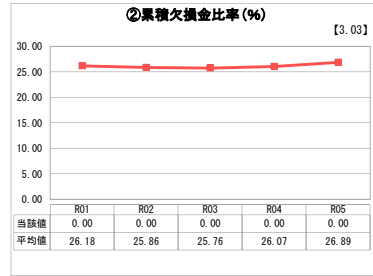
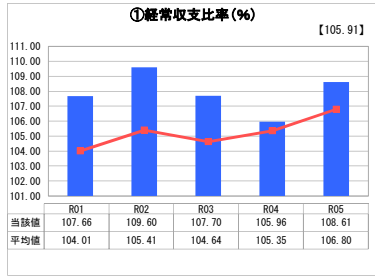
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	65.77	4.94	40.66	2,530

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
-	-	-
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,259	2.72	1,933.46

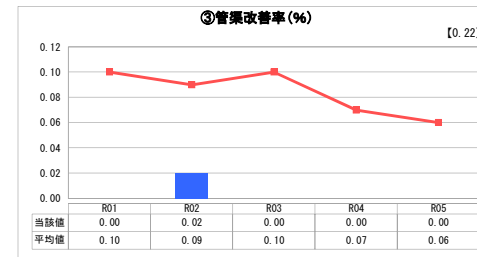
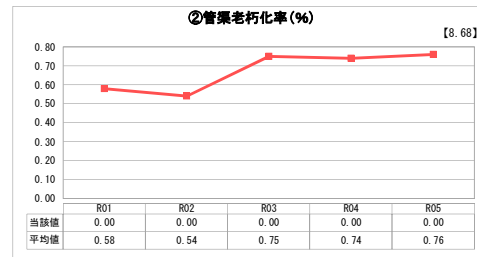
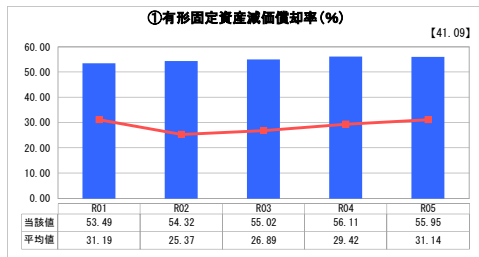
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は2.65%の増加が見られるが、これは他会計補助金の増加に伴う収入の増加および修繕費等の減少に伴う費用の減少に伴うものであり、使用料収入は減少傾向にある。  
 ② 流動比率については、留保資金の確保等現在のところ十分であると考えられる。  
 ③ 企業債残高対事業規模比率については、更新工事借入額が減少したため、企業債残高が減少しているが、類似団体と比べて企業債残高の割合が高く、ストックマネジメント計画を基に適切な更新工事を行い、借入の圧縮が必要と考えられる。  
 ④ 経費回収率については、使用料収入が減少したが、営業費用も減少したため、0.9%増加した。また、当組合は他市町からの汚水を受け入れているため、経費回収率は実態より低く見えている。  
 ⑤ 汚水処理原価については、類似団体に比べ高く推移している。

以上のことから、経営の健全性・効率性については、類似団体と比較して低いと考えられる。受託事業収益は事業の広域化によってもたらされているため、今後も広域化・共同化を推進しスケールメリットを生み出したいと考える。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始後41年を過ぎ、①有形固定資産減価償却率は50%を超えている。設備の老朽化が進んでいるため、ストックマネジメント計画を策定し計画的な改修を行っている。管渠設備については耐用年数は50年であるため、②管渠老朽化率は0%である。管内調査を行い不具合が見つかったためR2年度に修繕を行った。

### 全体総括

当組合では、下水道サービスを永続的に区域住民に提供していくため、経営戦略に基づく事業計画や経営の健全化に向けた取り組みを実施している。経営戦略については、令和5年度に見直しをし、料金改定等による収入の確保、広域化・共同化による事業の効率化を目指しているところである。人口減少社会や水需要の低下、施設の老朽化など経営環境は非常に厳しいことから、実効的で効果的な取り組みを計画したい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。